2026年11月26日

各　位

会社名　　株式会社識学
代表者名　　代表取締役社長　安藤 広大
（コード番号 7049　東証グロース）
問合せ先　　経理財務部長　宮下 貴行
（TEL：03-6821-7560）

# 財務上の特約が付された金銭消費貸借契約の締結に関するお知らせ

当社は、本日、代表取締役社長の決定により、以下のとおり、財務上の特約が付された金銭消費貸借契約の締結を行うことといたしましたので、お知らせいたします。

記

## １．財務上の特約が付された金銭消費貸借契約の締結を行う理由

当社は、2026年11月24日付「連結子会社による株式会社中込製作所の株式の取得（孫会社化）に関するお知らせ」にて開示のとおり、当社の完全子会社である株式会社識学グロースキャピタルパートナーズを通じて株式会社中込製作所（以下「対象会社」といいます。）の発行済株式の100%を取得することを決定いたしました。

今般、本株式取得に係る資金の一部を調達するため、下記「２．金銭消費貸借契約の内容」に記載の条件にて本契約を締結いたします。

## ２．金銭消費貸借契約の内容

| | | |
|---|---|---|
| （１） | 契約締結日 | 2026年11月26日 |
| （２） | 相手方属性 | 株式会社三井住友銀行をアレンジャー兼エージェントとするシンジケート団 |
| （３） | 債務の元本 | 2,027百万円 |
| （４） | 弁済期限 | 2034年5月31日（7年6か月） |
| （５） | 資金使途 | 株式取得資金（株式会社中込製作所の株式取得対価原資）2,027百万円 |
| （６） | 担保内容 | 株式会社識学グロースキャピタルパートナーズ及び対象会社による法人保証（2026年11月26日付）並びに株式会社識学グロースキャピタルパートナーズが保有する対象会社株式への質権設定（株式譲渡実行日以降に設定予定） |

## ３．金銭消費貸借契約に付される財務上の特約の内容

本契約に付される財務上の特約の内容は以下のとおりです。

### （１）財務制限条項

以下の各項に抵触した場合、本契約上の期限の利益を喪失する可能性があります。

① 2027 年 2 月期末日及びそれ以降の各事業年度末日における単体及び連結の貸借対照表における純資産の部の合計金額を、2026 年 2 月期末日又は直前の事業年度末日における単体及び連結の貸借対照表における純資産の部の合計金額のいずれか高い方の 75%以上に維持すること

② 2027 年 2 月期末日及びそれ以降の各事業年度末日における単体及び連結の損益計算書における営業損益を、2 期連続して損失としないこと

③ 2028 年 2 月期末日及びそれ以降の各事業年度末日における連結 EBITDA 有利子負債倍率（（有利子負債－現預金）÷（営業利益＋減価償却費＋のれん償却費））を 2.0 倍以下に維持すること

④ 2028 年 2 月期末日及びそれ以降の各事業年度末日における当社及び株式会社識学グロースキャピタルパートナーズの人件費及び採用費の合計額を、両社の単体の損益計算書における売上高の合計額の 44.5%以下に維持すること

⑤ 2027 年 2 月期末日及びそれ以降の各事業年度末日における連結 D/E レシオ（有利子負債÷純資産の部の合計金額）を 1.3 倍以下に維持すること

⑥ 2028 年 2 月期末日及びそれ以降の各事業年度末日における連結 DSCR（（親会社株主に帰属する当期純損益＋減価償却費＋のれん償却費）÷M&A 関連借入の年間元金返済合計額）を 1.1 倍以上に維持すること

### （２）遵守事項

① 対象会社の株式を継続して保有すること

② 決算書（財務制限条項遵守報告書を含む。）を提出すること

## ４．今後の見通し

本件に伴う当社の 2027 年 2 月期の連結業績及び財務状況に与える影響につきましては、現在精査中であり、影響が判明した場合は速やかにお知らせいたします。

以　上